



木曾川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2016年12月11日) 9:30~12:00 (曇り
後晴)

参加者 一般：4名 (うち子ども2名)

指導員：7名

テーマ 「冬鳥を探そう」

今日は午後から138タワーパークのレストハウスで尾張自然観察会の運営委員会があるので、午前中から来て観察会に参加してくれた指導員もいて、いつもとはちょっと顔ぶれが違っていました。

今日のテーマは鳥です。ヒヨドリを聞きながら、フィールドスコープを持って回りました。8日に下見した時には少なかった冬鳥のツグミも、20羽近い群が高水敷の木の枝に止まっていました。その他シロハラ、ジョウビタキ、シメ、モズなど冬によく見られる鳥はほぼ姿を見せてくれましたが、例年なら河原の草原でよく見かけるアオジは今季は少ないのか見られず、終わりがけに鳴き声が聞かれただけでした。堤防道路を歩いている時には上空をオオタカが飛び、大野極楽寺公園ではエナガとコゲラの混群に出会い、一般参加の親子は初めてキツキを見ることができたと喜んでいました。

途中、河原で穴を掘ってできた砂の山を見ました。最初は人が掘ったものと思いましたが、よく見ると平らな場所に短径30センチほどの穴が斜めに掘られ、奥で二つに分かれ、さらにその先がありそうです。フィールドサインの足跡は参加者が歩いてしまったのではっきりは分かりませんが、どうやら人のしわざではなく動物が掘ったもののようです。タヌキ、キツネ、ヌートリア・・・どんな動物が掘ったのか探す楽しみができました。

大野極楽寺公園では参加していた指導員が大きなドングリを見つけ、ナラガシワだと教えてくれました。今までコナラと思いつみ、気づかずにいたものです。違う顔ぶれで歩くと、新しい発見があって楽しいですね。(報告：齋竹)

<その他観察できたもの>

鳥：スズメ、ムクドリ、キジバト、ケリ、アオサギ、トビ、メジロ、ハシブトガラス、ウグイス(声)

昆虫：ナミテントウ、ツマグロヒョウモン、キタテハ、ムラサキシジミ



(観察会のようす)



(河川敷で見つけた穴)



(冬鳥のツグミ)



(秋から冬によく見られるモズ)